

「学校教育目標」と「令和5年度重点目標」について

知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を養い、適性や能力に応じた生徒一人一人の自己実現と、地域、日本そして世界の明日を担う有為な人財の育成を目指す。

② 校訓「真摯にしてまなざし高く」を実践するために、学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、勉強も部活動等にも積極的に取り組む意欲のある生徒

① 多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、生徒一人一人の適性と希望に応じた進路実現

③ 地域の伝統及び文化を継承し、地域と共に生き、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を身に付けた、地域社会に期待される人財の育成

「あ・そ・ぶ・べ・な」  
挨拶をしよう・掃除をしよう・部活動をやろう・  
勉強をしよう・仲間をつくろう

何ができるようになるか。○学校教育の基本

- ①一般的な教養を身につけ、生涯を通して学び続ける姿勢を持つ。
- ②コミュニケーションをとることができる。
- ③地域の一員であることを自覚し、地域社会で役立つことができる。

1年次 : 積極的に学校生活に取り組む生徒の育成  
2年次 : 学校の中心として行動できる、活力に満ちた生徒の育成  
3年次 : 最終年次として、社会に送り出せる生徒の育成

何が身についたか。○学校教育の基本

- ①基礎的・基本的な学力が身につく、解決方法について考えようとする姿勢。
- ②率先して挨拶することができる積極性と協力して清掃活動を行う等の協調性。
- ③地域・地元・郷土を愛する心。

生徒の実態

- ①-A 基礎学力が身についておらず、学び直しが必要な生徒が多い。
- ①-B 将来の目標を明確にできず、具体的な取組み時期が遅れる生徒がいる。
- ②-A 中学時代に、不登校の経験や、規範意識に欠ける行動をした生徒が4割程度いる。
- ②-B③-A 学校行事等を主体的に計画し、実行できる生徒が少ない。
- ③-B 就職者は8割程度であるが、そのほとんどが地元(北茨城・高萩・日立)である。

特別な配慮を必要とする生徒への指導

- ・SC、SSW等の積極的な活用を図る。
- ・板書等での視覚的な補助を考慮した指導を研究。
- ・学び直しが必要な生徒に、補習課外を設定。
- ・特別支援学校との連携による、授業視察及び個別巡回相談の活用。

目指す生徒像

- ①-A 基礎的・基本的な学力が身につく、学習に主体的に取り組むことができる生徒。
- ①-B 自らの進路について、主体的に考え実践しようとする生徒。
- ②-A 望ましい人間関係が構築できる生徒。
- ②-B③-A 学校行事等に主体的に取り組み、学校の伝統を作っていくことができる生徒。
- ③-B 地元企業の中心人材となれる知識・能力を身に付け、将来地域社会に貢献できる生徒。

学校行事

クラスマッチ② 全校野球応援②③ しぶき祭(文化祭)②  
雨情を偲ぶ会③ 基礎学力カウチ①② 修学旅行(遠足)②③

LHR・キャリア教育

- ・HR役員(前後期)、各種委員会(1年)の選定②
- ・基礎コンへ向けて学習①②
- ・学系が'ダ'入(1、2年)①
- ・進路が'ダ'入(年次)①
- ・1/ターナツ'ダ'(2年)①、③
- ・小論文講座①
- ・産業技術学院出前授業①③
- ・面接対策講座、練習会①②③
- ・3年進路報告会①②③

部活動

- (1)部活動全員加入制②
- (2)入学直後の部活動オリエンテーション・部活動見学・体験入部の一連の流れ②
- (3)未活動者への個別での活動指導②
- (4)伝達表彰・壮行会の実施③
- (5)部の代表としての野球応援委員の立候補②③

地域連携：磯原郷英高等学校グランドサポーター

学校内外の巡回③ 学校活動の生徒補助②③  
生徒のボランティア活動場所の提供②③ 等

各教科【①②③】

<p><b>国語</b></p> <p>漢字力や語彙力を身につけさせるため、ドリル形式の授業を取り入れ、定期的の小テストを実施し、繰り返し復習させることに力を入れて授業を展開する①。</p>	<p><b>数学</b></p> <p>各時間・各単元の導入の際に関連する既習事項を復習する時間を設け、生徒の理解につなげる①。</p>
<p><b>地歴公民</b></p> <p>基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、社会的な見方・考え方の育成のため、身近な社会現象との関連、地域素材を用いた授業展開を行う①③。</p>	<p><b>理科</b></p> <p>・小単元に小テスト等の振り返りを取り入れた授業を実施する①。</p> <p>・実験、実習を通して、課題発見、解決能力を育む③。</p>
<p><b>英語</b></p> <p>・基礎学力の定着①</p> <p>・分かる授業の展開①</p> <p>・A L Tの活用①</p>	<p><b>家庭</b></p> <p>・地域特産物を用いた献立作成・調理実習①③</p> <p>・ホームプロジェクト①②</p>
<p><b>保健体育</b></p> <p>・健康安全に留意した授業展開①</p> <p>・豊かなスポーツライフの基礎を培う体育学習の工夫②</p>	<p><b>情報</b></p> <p>文書やプレゼンテーションの作成を通し情報デザインを学び、情報伝達能力やコミュニケーション能力を育む③</p>
<p><b>芸術</b></p> <p>・グループでの作品鑑賞、作品制作を通して、生徒同士で作品の見方、感じ方を深め合う②。</p> <p>・作品制作を通し、技術の向上と作品に対する知識・理解を深める①。</p>	<p><b>商業</b></p> <p>ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解すると共に関連する技術を身につけ、地域産業の発展を担う人材を育成する②。</p>

教員の研修

- ・各教科等で「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」の視点に則った授業研究と、「何が身についたか」を加えた3観点による学習評価の充実
- ・高大接続改革への深い理解と活用(「基礎診断」の活用で授業改善のPDCAを促進)